

「クールジャパン戦略推進特命委員会提言」への対応状況

平成 29 年 5 月

クールジャパン戦略推進特命委員会提言	進捗状況
<p>国内においてクールジャパン拠点の設置と、観光拠点化を進めるとともに、その具体的な方策について検討するために、クールジャパン連携プラットフォームに「クールジャパン拠点構築分科会」(仮称)を設置。</p>	<p>○ 「クールジャパン拠点連携実証調査」において、拠点連携に取り組む7つのプロジェクトを採択。本調査の結果も踏まえ、「クールジャパン拠点構築検討会」において、拠点の連携に関する方策や今後の取組等を最終報告書等としてとりまとめの上、全国に発信・展開(本年5月)。 [内閣府]</p>
<p>○提言1:「クールジャパン・カリスマ[100選]」(仮称)の創設 クールジャパンの担い手となる人材育成を強化する。「クールジャパン・カリスマ[100選]」(仮称)を立ち上げ、グローバルに活躍するクールジャパン人材のベスト・プラクティスを表彰・支援する制度を構築する。</p>	<p>○ 世界で活躍する日本人等を「クールジャパン・アンバサダー」として任命し、情報発信等の協力を依頼。昨年度は、以下の4名を新たにアンバサダーに任命(現時点で全41名)[内閣府]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポール・クリスティ氏(Walk Japan CEO: 自ら国東半島で里山生活を実施し、海外からの旅行者とも体験を共有。) ・ ミゲール・ダルズ氏(沖縄伝統空手総合案内ビューロー 事務局長: 海外の沖縄空手ファンに対する5か国語での情報発信や外国人の稽古希望者の受入に取り組む。) ・ クリストファー・ペレグリニ氏(俳優、焼酎唎酒師: 焼酎や泡盛を中心に日本の食文化を紹介するセミナーを開催するなど様々に活躍。) ・ ジャスティン・ポッツ氏(株式会社 Umari 国際ビジネス開発ディレクター: 日本酒唎酒師の資格を取得するなど、日本産酒類の魅力の発信に取り組む。) <p>○ 国際的に通用するプロデューサー人材の育成を支援。[経済産業省]</p> <p>○ メディア芸術を含めた各分野の若手芸術家の海外研修を支援。[文化庁]</p>
<p>○提言2:「ジャパン・コンテンツ100選」(仮称)の創設 コンテンツ各分野における「ジャパン・コンテンツ100選」(仮称)を選定し、ローカライズやプロモーション等により、積極的に海外発信に必要な措置をとる。</p>	<p>○ 本年2月16日に、クールジャパン官民連携プラットフォームにおいて「マッチングフォーラム」を開催し、クールジャパンの異業種連携による商品・サービス等の組成や海外展開を後押しするため、マッチングアワード(優良事例の表彰)及びマッチングメッセ(商談会)を実施。マッチングアワードでは、歌舞伎や初音ミクとテクノロジーを組み合わせた作品を含めた、連携プロジェクトを表彰。[内閣府]</p> <p>○ コンテンツの現地化(字幕・吹替等)や、プロモーション(国際見本市への出展等)にかかる費用を補助。[経済産業省]</p>

クールジャパン戦略推進特命委員会提言	進捗状況
<p>○提言3:資金調達メカニズムの強化 映画、TVドラマ、アニメなどのエンターテインメント作品の開発・製作に必要な資金調達をしやすい環境を整備するため、関係法令による規制などの課題を徹底的に洗い出し、必要な立法措置の検討も視野にいれつつ規制の明確化・合理化を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係者(映画会社、制作会社、映画監督、広告代理店、出版社、弁護士等)へのヒアリングを実施。ヒアリング結果を踏まえ、コンテンツ事業における資金調達時の金融商品取引法の適用関係について、ガイドライン Q&A の作成・周知を通じて明確化し、必要な資金調達のための環境整備に取り組む予定。[金融庁] ○ 知的財産戦略本部「映画の振興施策に関する検討会議」報告書(2017年3月公表)の結果も踏まえ、今後、中小制作会社等の海外展開促進に向け、最適な資金調達方法の確立を目指し、弁護士・会計士による資金調達のサポートに係る検証事業を実施予定。[経済産業省]
<p>○提言4:「地方発クールジャパン資源開発室」(仮称)の設立 地元企業の海外展開支援を進めるための仕組みを整備する。JETROや地方自治体、商工会議所などが連携し、専門家が地域において主体的に地域産業の海外展開やインバウンドの後押しをできる体制づくりを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ クールジャパン機構が出資している海外での地域産品ショーケース事業や日本コンテンツの番組配信事業等に、各地域の産品・コンテンツを展開する取組を実施。具体的には、例えば、全国の地方経済産業局、JETRO、中小機構、クールジャパン機構等が連携し、パリで地域産品の常設展示及びテストマーケティングをする「Challenge Local Cool Japan in パリ」を実施。[経済産業省] ○ 中堅・中小企業等の海外展開を後押しするために設立した「新輸出大国コンソーシアム」に、クールジャパン機構が支援機関として参加(2017年5月5日現在、政府関係機関、地方自治体、商工会議所等、1,086の支援機関が参加)。[経済産業省] ○ 海外ニーズ等に精通した外部人材の活用による日本の生活文化の特色を生かした商材について、改良、ブランディング、流通経路開拓等、海外販路開拓に向けたプロデュース活動を支援。[経済産業省]
<p>○提言5:「クールジャパンコンテンツ特区」(仮称)の創設 国内外において積極的に発信すべきコンテンツ等について、より柔軟かつ適正なコンテンツ利用を行うため、一定の場所(映画のロケ地など)・コンテンツにおける「クールジャパンコンテンツ特区」(仮称)を設けることを検討するとともに、コンテンツ管理のための実用化試験を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地方自治体やフィルムコミッション、ロケ地提供者、制作者、旅行会社、大学等をメンバーとする、これまでの「ロケツーリズム連絡会」をベースに2016年10月に新たに立ち上げられた「ロケツーリズム協議会」における、全国どの地域でもスムーズに使用許可を得られるようにすることを目的とした、地方自治体等が心得るべき著作権交渉等のノウハウのマニュアル化に向けた取組を支援。[観光庁]

クールジャパン戦略推進特命委員会提言	進捗状況
<p>○提言6:「ロケ誘致推進室」(仮称)の設置</p> <p>国内外のロケ誘致を促進するため、政府は担当窓口「ロケ誘致推進室(仮称)」を設置するなどして、フィルムコミッション組織と連携強化を図る。政府は、フィルムコミッション組織を財政、人材両面から強化し、海外事業の再構築等や、国際的なフィルムコミッションとの連携の強化を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 知的財産戦略本部「映画の振興施策に関する検討会議」報告書(2017年3月公表)、「知的財産推進計画2017」(2017年5月決定)を踏まえ、今後、我が国におけるロケ等の環境整備を図ることを目的とする「ロケ撮影の環境改善に係る官民連絡会議」を設置予定。[内閣府] ○ 「ロケツーリズム協議会」における、ロケ誘致から観光客向けの情報発信に至るノウハウのマニュアル化やロケ地紹介サイトの開設等、ロケ受入環境の整備や、ロケ地ツアーの商品化等、ロケを契機とする観光振興や地域活性化の推進に係る取組を支援。[観光庁] ○ 全国各地のフィルムコミッションが保有・蓄積するロケ地情報を集約したデータベースをインターネット上に公開(全国ロケーションデータベース)。[文化庁] ○ 「クールジャパン拠点連携実証調査」の中で、海外撮影クルーのロケ誘致促進のため、フィルムコミッションや地域の関係者・拠点等が連携し、海外のコンテンツ制作者のニーズに即した形でロケ地情報を集約したデータベースの構築・発信方策についての調査プロジェクトを実施。[内閣府]
<p>○提言7:「クールジャパン展開データ」の整備</p> <p>クールジャパン戦略の効果を測定するために、KPIを設けるなどして、データの分析体制を強化する。国際的な評価を客観的に把握した「クールジャパン展開データ」として蓄積、更新し、クールジャパン戦略に反映させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ クールジャパン戦略の効果的推進に資するため、市場規模や成長性の観点から東南アジア5か国(タイ、インドネシア、ベトナム、シンガポール、マレーシア)を対象に、各国の基礎的な経済情報やコンテンツ、非コンテンツの利用状況・嗜好・ニーズ等を調査・公表。[内閣府]